

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果(結果)

【事業名】A事業 (①②の別: ②)

① ひょうごプラチナ企業創出事業

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

成長期にある県内中小企業の経営力強化を支援し、経営品質の向上を図るとともに中堅企業への成長を促すため、経営環境やSDGs、ステークホルダー分析、アクションプランの作成・実践指導まで行うセミナー等、経営者の資質向上に向けた取組を実施する。

さらに、優秀な企業を評価顕彰する認定制度を創設することにより、県内企業のモチベーションを高め、もって兵庫県経済の活性化を図っていく。

【成果(結果) 〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

【3年目事業】

1. ひょうごプラチナ企業認定: 認定企業数 16社

2. ひょうごプラチナ企業認定式典:

日時: 12月2日(月) 14:00~

場所: ザ マーカスクエア神戸 5F THE BALLROOM【WEST】

課題: 1. 企業ニーズが想定以上に変化しており、その対応や事業再構築が課題。

2. 当該事業による取組を県内企業に波及させていくための実効性ある取組が必要

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

	計画	実績
プラチナ企業認定	2~3社を見込む	16社

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するために迅速に対応できる体制を構築する必要性を認識する経営者が増加した。

また、経営改善のための実践的取組として経営改善計画等の作成を専門家の支援を受けながら実践してきたことで、プラチナ企業認定を受けた企業は、明確に企業価値を高めることができた。

今後については、価値共創経営を実践できた優秀なプラチナ認定企業の事例を広く広報・発信することにより、被選定企業以外の県内企業に、シナジー効果を波及していくことで、県内企業のモチベーションを高め、もって兵庫県経済の活性化を図っていく。

② ひょうご中小企業SDGs支援事業

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

兵庫県では、SDGsにかかる取組を推進すると宣言した企業を集約・公表し、取組の可視化や企業価値の増大を支援する「ひょうご産業SDGs推進宣言事業」を実施するとともに、取り組みの深化を促すため、取組内容を評価・認証する「ひょうご産業SDGs認証事業」を新たに立ち上げるなど、中小企業のSDGsを支援しており、県と連携して、普及啓発や、SDGs認証企業の新たなビジネス機会の拡大を図るため大規模展示会出展への支援を行うことで、県内中小企業のサステナビリティへの対応を推進する。

【遂行状況〈実施事業の内容・進捗状況、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

(1) 国際フロンティア産業メッセ2024への出展

産業メッセに出展し、「ひょうご産業SDGs推進宣言事業・認証事業」制度の周知等、SDGsの普及啓発を行った。

開催日: 9月5日(木)~6日(金)

会場: 神戸国際展示場

主な展示内容:

○SDGs関連製品、パネルの展示

- ・空き家等を生かした農業を可能にする「植物工場」
- ・粘着シートや薬剤を使わない害獣忌避装置 等 出展企業6社
- 動画放映（大学とコラボした「SDGsに取り組む企業紹介動画」等）
- (2) SDGs 認証企業を対象とした大規模展示会出展事業
 - ひょうご産業SDGs認証企業を対象にSDGs Week EXPO 2024（エコプロ）に共同出展し、企業のSDGsの取組のPRを行った。
 - 開催日：12月4日（水）～6日（金）
 - 会 場：東京ビッグサイト
 - 内 容：
 - SDGs認証企業のSDGs関連製品・パネル等の展示・商談
 - ・省エネ化・クリーンエネルギー促進・アップサイクルなど環境に配慮した縫製企業
 - ・保管期間切れや使用済みの備蓄防災毛布の再資源化商品
 - ・廃食油をバイオ燃料や飼料用添加油脂等への再資源化 等 出展企業13社
 - ひょうご産業SDGs 推進宣言・認証事業のPR
 - 広報誌、HP、SNS等を活用して、取組・成果を広く発信
- (3) 広報パンフレットの制作
 - 先進事例、支援メニュー等を紹介するパンフレットを制作し、SDGsの普及啓発を行った。
 - 紹介内容の主なもの
 - ・廃食油の工業用油等へのリサイクル（脱炭素化）
 - ・木材加工で出るおがくずの暖房等への有効活用 等
- (4) ホームページの改修（SDGs広報の充実）及び運営

○課題

宣言・認証企業数は、順調に増えている一方で、まだまだ自社のSDGsの取組をPRできていない企業が多い。

そのため、宣言・認証企業を増やすことはもとより、企業のSDGsの取組を積極的にPRしていくことが必要である。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

	計画	実績(見込み)	備 考
宣言企業	400社	2,411社	
認証企業	200社	219社	ゴールト [※] 16、アド [※] パンス43、スタンダ [※] ート160

宣言企業数は目標の400社に対し、2,411社と目標値を大幅に上回った。認証事業も目標の200社に対し、219社と目標を上回った。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

「ひょうご産業SDGs推進宣言事業」、「ひょうご産業SDGs認証事業」とも、最終目標である宣言企業数5,000社（令和7年度末）、認証企業数800社（令和7年度末）を目指し、SDGsの先進事例の紹介や県内支援機関の支援情報も含めて情報発信するなど、より一層の普及啓発に努める。

③ 新規投資・ビジネスマッチング促進事業

(1) Japan Robot Week 2024 への出展

目 的：産業用やサービスロボット分野はもちろん、協働ロボット、システムインテグレータを中核に、近年の広範なロボットニーズに対応する標記事業にブース出展し、来場した企業関係者に兵庫県内企業をPRし、ビジネスマッチングを図る。

開催日：9月18日（水）～20日（金）

場 所：東京ビッグサイト 東展示棟

成果等：展示会ブース来場者へのパンフレット等の資料配布・PR動画等の放映及び関心事項等の説明を行うとともに、ブース来訪者へのアンケートを実施し、兵庫県内企業とのビジネスマッチングの要望等を確認した。後日企業訪問等を行い、フォローアップを実施した。

(2) モノづくりフェア2024への出展

目 的：福岡県で開催される、次世代モノづくりに関わる最新技術の展示会である標記事業にブース出展し、来場した企業関係者に兵庫県内企業をPRし、ビジネスマッチングを図る。

開催日： 10月15日(水)～18日(金)

場 所：マリンメッセ福岡A館・B館

成果等：展示会ブース来場者へのパンフレット等の資料配布・PR動画等の放映及び関心事項等の説明を行うとともに、ブース来訪者へのアンケートを実施して、兵庫県内企業とのビジネスマッチングの要望等を確認した。後日企業訪問等を行いフォローアップを実施した。

【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

目標：県内企業への引き合わせ10件

- ・「Japan Robot Week 2024（東京）」で名刺交換した企業に対し、後日電話及びメールにて発注案件の確認や当財団事業の詳細を説明。具体的な発注があり協力会社を求める企業に対しては、後日県内の受注企業を紹介した。また、出展した企業5社に対しては来場者情報183社分を送信、後日展示企業側から直接連絡するよう依頼。
- ・「モノづくりフェア2024（福岡）」で名刺交換した企業に後日電話及びメールにて発注案件詳細を確認。来場した県内受注企業を後日訪問、事業説明をするとともにあっせんを実施。また、協力会社を探していた発注企業に対してはニーズに適合する県内の受注企業を紹介し検討を依頼、現在商談中。出展した企業5社に対してはブースを訪れ出展企業に興味を示した来場者情報（183社）を送信、後日出展企業から直接連絡を取り合ってもらった。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

2024年度事業の成果を踏まえ、県内外の経済活動状況等を見ながら、ビジネスマッチング及び事務所等誘致の促進に向け、企業への直接的な働きかけの機会を拡大する方向で取り組む。